

# 本願寺へ念仏奉仕に行ってきました



松岡さんご夫婦



今回も参加された  
近藤さん



左から原口さん、  
福岡さん、入江さん

11月11日(月)～13日(水)の2泊3日の行程で、熊本組14ヶ寺の本願寺念仏奉仕がありました。覚法寺からは、坊守さんをふくめて8名の参加で、総勢45名の念仏奉仕団でした。1日目の午後からオリエンテーションの後、早速御影堂の畳を雑巾ととも楽しかったです。最終日は大阪の津村別院に参拝した後、なんばランド花月で吉本新喜劇を観ました。その後、御影堂前でご門主様との記念撮影があったり、裏の書院や能舞台、飛雲閣を拝観したり、抹茶をいただいたり、盛りだくさんの日程でした。全国から集まった念仏奉仕団の自己紹介や10回、20回、30回参加の個人、団体の表彰など、奉仕団どうしの交流も楽しかったです。2日目の午後に本山を後にして、石庭で有名な竜安寺や嵐山を散策して、保津川沿いをトロッコ列車で亀岡市に向かい、湯ノ花温泉に泊まりました。夕食を兼ねた宴会も、ご門徒さん方の歌のうまさに驚いたり、真面目そうな住職さんや坊守さんの意外な一面が見られたりで、

に「来たなら良かったなあ」という思いが残る2泊3日でした。2年に1度の熊本組の念仏奉仕に皆様も是非ご参加下さい。(福田)



季刊

# 覚法寺

〒862-0956  
熊本市中央区水前寺公園1-25  
電話 (096) 383-4874  
FAX (096) 383-3050  
kakuhouji@eagle.ocn.ne.jp  
<http://www.facebook.com/kakuhouji>

ご本尊は本山から  
お迎えしましょう

ご本尊について  
のお問い合わせ

参拝部 ☎075(371)5181 まで  
覚法寺 ☎096(383)4874 まで

## 住職雑記

お仏事でたまに言われる言葉があります。「ありがとございました」の後に、「助かりました」や「安心しました」とおっしゃられる事を耳にします。この事について少し考えることがあります。「体何をもつてそうおっしゃっているのか?と考えると、聞いて「安心しました」などでしたら分かるのですが、お経によって故人が報われたという意味での「助かりました」や「安心しました」では間違った受け取り方となります。また、お経によって自分の厄払いが済んだかのような「助かりました」や「安心しました」でも間違った受け取り方になります。▼お釈迦さまの晩年、ご自身のご臨終の時の事として伝わるお話ですが、お釈迦様のご臨終になる時、天の神々が天華を降らせて供養をするのです。ところが、お釈迦さまは「天から華を降らせるようなことが真に仏を供養する方法ではない。法を修めることが、真の供養なのである」と答えられたのです。法を得ることが最高の供養、ということです。

# 報恩講法要

十一月二十三日から二十五日まで「宗祖聖人報恩講法要」を厳修いたしました。熊本では一月に厳修される事が多いことから、御正忌さんと呼ばれている法要です。報恩講は浄土真宗のみ教えに生きる門信徒にとつて、最も大事な法要であります。

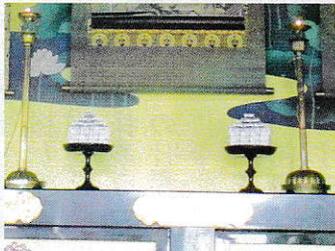
初日の御俗姓に引き続き、第二日目と三日目は御伝鈔でした。御伝鈔は、親鸞聖人ご在世のエピソードとして語り継がれているもので、今年は親鸞聖人が関東から京都へお帰りになる途中での出来事として伝わる箱根霊告のお話と、平太郎という人物の神祇信仰に対する苦悩に教え諭す熊野霊告のお話でありました。

三日間のご法話の御講師は、福岡県柳川市開蔵寺武末道之師でした。

三日間、法要からご法話、お斎まで、沢山の方々にご聴聞くださいました。また最終日には今回初めて、お供物にあがつておりました「松風」をご参拝



ご法話 武末道之師



お供物の「松風」



御正忌 報恩講の法要

の皆様にお持ち帰りいただきました。この度も、婦人会の方々に「お斎」のご準備、仏壮の方々へ受付やご接待など、たくさんのご協力をもって無事に勤め上げることができました。ありがとうございました。

## 仏教壮年会 第一ブロック大会

令和元年十一月四日、細工町の西光寺に赴き、熊本市内の六組合同で執り行われる「熊本教区第一ブロック仏教壮年研修大会」に参加致しました。

今回は「しめぎめ」仏教活動をとおして考えられる寺の「めざめ」をテーマとして、佐賀県神崎市にある浄光寺のご住職であり、九州龍谷大学の学長を務められている、後藤明信師の御講話をいただきました。

師は、少子高齢化と宗教離れが進行する現代にあって、ただ従来通りのお寺と仏教壮年会の在り方ではなく、ともに広くご法義に触れるご縁を自ら作り出していかねばならないという事、また、多種多様に価値観が変化する時代にありながらも、変わる事のないお念仏の御教えをどの様に広めていかなければならないのかを、お伝え下さいました。

お話が終わった後は、熱意のある質疑応答が交わされ、盛況のうちに大会を終える事ができました。



第一ブロック大会

設計施工総合建設業

一級建築士事務所



## 株式会社 竹内工務店

優れた技術と信用で奉仕する

代表取締役会長 竹内 義雄  
代表取締役社長 竹内 浩二

本社/熊本市東区尾ノ上4丁目20-11

TEL(096)365-3366(代)

FAX(096)369-0562

鹿児島営業所/鹿児島市五ヶ別府町1734

TEL(099)265-9619

FAX(099)265-9619



## 創業60年

不動産の賃貸、売買、管理、相続、全て扱っています。

## (株)国府不動産

代表取締役 小川 道雄

〒862-0949 熊本市中央区国府1丁目13-5(国府電停前)

☎(096)364-6618

熊本仏教壮年会

12月8日、松屋別館にて覚法寺の忘年会がありました。

恒例のカラオケ大会では、普段は歌われる事の無いご住職が、情熱的なダンスとともに熱唱されたり、会の最後には初参加の方が、仏教壮年会への意気込みを強く語られるなど、例年のお楽しみに加えて、色々なサプライズが見られた忘年会となりました。

来年もまた、多くの方々の参加をお待ちしております。



忘年会の様子



今年初めての参加でした

覚法寺仏教婦人会

蓮華の会だより



私達の主な活動・・・(秋より冬へ)・・・

10月

- 例会 A 住職さん講話 冊子「浄土真宗のしきたりと教え」より
- B 菅原氏 講話 冊子「めぐみ」より

11月

- 例会 福田氏 講話 冊子「めぐみ」より  
後ビデオ鑑賞「お釈迦さまについて」
- 報恩講参詣とお齋作りのご奉仕  
お齋作りは会員以外の方も多数参加されて、心強く楽しい数日間でした。  
皆で力を合わせて覚法寺の「お味」ができました。  
(たいがなうまかですよ!!)



美味しくいただきました



今年のお齋

12月

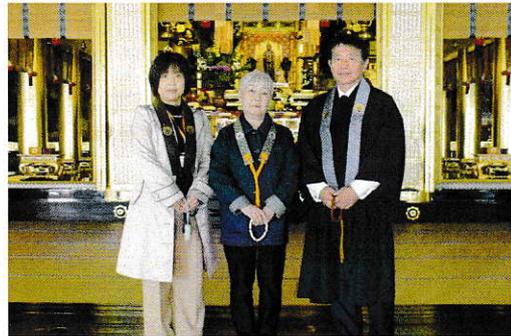
- 蓮華の会報恩講  
11月の報恩講ご奉仕で十分にお聴聞ができなかった人も含めて住職・職員さんとのお勤めの後、法話ご聴聞。そして仕出し屋さんによるお齋の席につきました。
- 暮れの寺内大掃除と仏具おみがき  
仏壮との合同で如来様へ1年間のお礼の気持ちを込めて。



蓮華の会報恩講

元当会会員「笠間成子」様が  
10月9日お亡くなりになりました。

十一月十二日、六時からの本願寺のお晨朝に引き続き、帰敬式(おかみそり)があり、今回の念仏奉仕団に参加されていた福岡清子さんが受式をされました。今からちょうど二十年前、平成十一年の十一月にお母様が受式をされたという事で、「母と同じように、本願寺でおかみそりを受けることができた。」と感激もひとしおでした。しかもこの日は前ご門主様の即如上人が授式をしてくださいました。これから正真正銘の本願寺ご門徒として、ますますお聴聞に励まれますよう念じます。



本願寺の御影堂にご安置された阿弥陀様の前で帰敬式を受けられた福岡清子さん

「覚法寺年間行事予定」

三月二十日(金)～二十一日(日)

春季彼岸会法要

五月三十一日(日)

宗祖親鸞聖人降誕会法要

八月十六日(日)

盂蘭盆会法要

九月二十日(月)～二十三日(水)

秋季彼岸会法要

どなたでもどうぞお参り下さい。

「宗門総合振興計画」

「ご懇志進納状況の報告⑨」

本山からの依頼額九三〇万円のところ、十二月二十二日現在で六〇九件様より一〇三万円のご懇志をお預かり致しました。篤くお礼申し上げます。おかげさまで達成し二千万円を超えました。

進納期限は本年の三月三十一日までです。ご進納がまだの方は、どうぞご協力のほど宜しくお願い致します。

京都の本願寺では、二〇二三年(令和五年)三月から五月までの期間にて『親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年法要』が予定されております。

覚法寺でも本山の法要後に、記念法要を行う予定です。依頼額より過分になりましたご懇志を記念法要に使わせていただこうと考えております。

「ダーナ基金だより」

日頃よりダーナ基金へのご理解ご協力ありがとうございます。

今回は佐賀教区教務所へ「令和元年八月豪雨災害義援金」として五万円を送金致しました。

今後ともあなたのささやかなお気持ちをどうぞお届けください。お寺の本堂入り口に募金箱を設置しております。(はちすの会ダーナ基金係より)

毎月16日7時 (宗祖親鸞聖人の御命日)  
お寺に参ろう。門信徒総参拝

建築企画・設計・監理  
有限会社  
**三島建築事務所**  
代表取締役 三嶋 統吾  
一級建築士  
〒862-0972 熊本市中央区渡鹿3丁目8番28号  
TEL 096-366-5566

寺院仏具修復・納骨堂設計・施工  
(宗教用具専門店) 仏壇・仏具・修復・修理  
お仏壇の **令掌**  
〒860-0073 熊本市西区島崎5丁目4-37  
(三軒屋バス亭前)  
TEL FAX **096 (359) 7720**